

生きものの教室 ～春・夏・秋・冬～

今年度は「生きものの教室」を年間4回（春・夏・秋・冬）開催しました。有馬富士学習センターから、生物や植物についての専門的な知識をお持ちの先生をお招きし、低・中学年の児童を対象に、学校や母子の里山を散策し、植物や生き物の観察や採集を行いました。

春の生きものの教室（5月11日）

「春見つけ、学校近くにいる生きものや川の中の生きものの観察」

網を持って青野川に入りました。水カマキリ、ヤゴ、カワムツなどの生物を捕まえてたり、草花を採集し、顕微鏡で観察しました。更にスケッチをして細かい部分まで研究しました。有馬富士自然学習センターの先生を講師に迎えて、大型テレビで生物を拡大し、興味深いお話を聞くことができました。



夏の生きものの教室（9月6日）

「川の中の生きものの観察」

網を持って青野川に入りました。水カマキリ、ヤゴ、カワムツなどの生物を捕まえて顕微鏡で観察しました。更にスケッチをして細かい部分まで研究しました。春の観察よりも細かいところまで観察しました。有馬富士自然学習センターの先生を講師に迎えて、大型テレビで生物を拡大し、興味深いお話を聞くことができました。



秋の生きものの教室（11月1日）

「学校近くの植物や生きものの観察」

網を持って学校周辺を歩き、虫たちを捕まえました。また途中で咲いていた草花もたくさん採集しました。捕まえた虫や採集した植物を拡大ルーペや顕微鏡を使って観察して、観察記録を書きました。3回目の観察なので、観察記録も詳しくなりました。



冬の生き物教室（2月1日）

「土の中の生きものの観察」

学校で借りている畑へ行き、コンピューターのアドバイスのもと、土を掘りお越し、冬の土の中にはどんな生物がいるのか、調査しました。数種の生物を発見し、顕微鏡や拡大ルーペを使って観察しました。今年度最後の生きものの教室で子どもたちは観察し、記録することも上手くなり、また観察の楽しさも感じるようになりました。



川の中の生物、地面を舞台に生きている生物、雪の下で越冬する生物など、年4回のいきものの教室は、子どもたちにとって生物に対して、一層興味を引きつける機会となりました。